

原小学校保護者の皆様

廿日市市立原小学校
校長 上田 肇

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」の結果と指導法改善計画について

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

本年度の「全国学力・学習状況調査」が中学3年生・小学6年生を対象に実施されました。本校では調査結果をもとに分析・考察し、今後の指導内容・指導方法等の改善について検討を行いました。

それをもとに基礎的・基本的な学力の定着をめざし、さらにわかりやすい授業の創造をめざしていきます。今後ともご協力・ご支援よろしくお願いします。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（正答率％）〈6年生〉

	国語	算数
本校	76％	67％
広島県	69％	64％
全国	67.2％	62.5％

※ △…県平均を上回っている。 ▼…県平均を下回っている。

分類	国語	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	広島県（公立）	全国（公立）
全体		14	△ 76	69	67.2
知識及び技能	言語の特徴や使い方に関する事項	5	△ 82.0	72.6	71.2
	情報の扱い方に関する事項	2	△ 75.0	63.9	63.4
思考力・表現 力・判断力等	話すこと・聞くこと	3	△ 86.7	75.1	72.6
	書くこと	1	▼ 10.0	29.0	26.7
	読むこと	3	△ 76.7	73.3	71.2

分類	算数	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	広島県（公立）	全国（公立）
全体		16	△ 67	64	62.5
領域 (重複問題あり)	数と計算	6	△ 80.0	68.1	67.3
	図形	4	▼ 47.5	49.3	48.2
	測定	0			
	変化と関係	4	▼ 70.0	71.4	70.9
	データの活用	3	△ 73.3	67.7	65.5

→裏面へ続く

指導方法の改善計画について

〈国語〉「話すこと・聞くこと」「読むこと」の内容において力がついている。しかし、「書くこと」に課題がある。

課題

言語の特徴や使い方に関する事項

- ・漢字の読み書きが不十分。

書くこと

- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかが不十分
- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが不十分



授業改善に向けて取り組むこと

- ・文章を読み、繰り返し出てくる言葉に印をつけるなど、キーワードとなる言葉を見つける指導を行う。
- ・限られた文字数で要点をまとめる練習を行う。必要な言葉や削る言葉を考える指導を行う。
(例：朝の帯タイムや家庭学習で新聞記事やネット記事を要約する活動を行う。)
- ・「自分の考えや思いを書くこと」と「筆者の考えを読み取り、整理すること」を区別することを教える。
- ・自分の書いた文章を推敲する活動を取り入れる。(例：5W1Hを意識する)

〈算数〉基本的な計算力は身につけている。しかし、「台形の意味や性質についての理解」や「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答え方を考えること」に課題がある。

課題

台形の意味や性質についての理解

- ・台形に限らず、図形の定義や特徴を理解できていない。
- ・算数用語の理解が不十分(例：向かい合った、1組、平行、辺 等)



授業改善に向けて取り組むこと

- ・既習の図形の定義をまとめたものをいつでも見ることができるよう準備する。
- ・「この図形は何?」「それはどうして?」など深めるような問いを投げかける。
- ・低学年のうちから、算数的活動や具体物を用いた操作的な活動を行う。

〈家庭学習・学習生活等〉

○児童の肯定的評価がとて高かった質問項目

- ・「読書は好きか」
- ・「PCやタブレットなどのICT機器は勉強に役に立つ」
- ・「算数の授業で学んだことは、将来役に立つ」

○児童の肯定的評価が低かった質問項目

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」
- ・「自分と違う意見について考えることは楽しい」
- ・「新聞を読んでいる」
- ・「立場や考えの違いを意識して話し合い、自分の考えをまとめる」



改善に向けて取り組むこと

- ・生活リズムに関することの中で、特に低いのが「毎日、同じくらいの時刻に起きている」という項目だった。就寝時刻とも関係があると考えられる。自分に合ったリズムを見つけ、習慣化できるように、「生活振り返り週間」等で取り組んでいく。
- ・自分の考えをしっかりと持たせ、その上でお互いに共有し、なぜそう考えたのか、相手の考えの良い部分は何か、自分の考えと違う点はどこかをしっかりと考えさせる指導を行う。